

## セカンドスクールに向けて その9 「ゆるキャラの巻」

日本国内の各地方都市においては、地域おこしや名産品の紹介、イベントや各種キャンペーンなど、「ご当地」をPR するための、ゆるいマスコットキャラクター、いわゆる「ゆるキャラ」が存在しています。愛らしい姿でご当地をアピールし、地方活性化に一役買っているけなげな姿からは、我が町を発展させようという地元民の心意気が伝わってきます。この「ゆるキャラ」の名称を考案した漫画家、エッセイストである みうらじゅん氏は、「ゆるキャラ」の条件として、以下の三か条を挙げています。

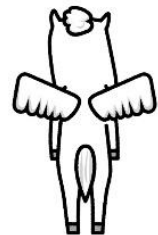
- 1.郷土愛に満ち溢れた強いメッセージ性があること。
- 2.立ち居振る舞いが不安定かつユニークであること。
- 3.愛すべき「ゆるさ」を持ち合わせていること。

このようなコンセプトのもと、各地でさまざまなゆるキャラが誕生し、2010 年からは「ゆるキャラグランプリ」なる全国コンテストも開催されました。しかし、組織票・不正投票が相次いで発覚、2020 年開催の 10 回目で終了してしまいました。それでも、〇まもんや〇きゅんなど、今なお地方都市の広報担当として人気不衰ゆるキャラも存在しています。一時、一世を風靡したいわゆる「ゆるキャラ」ですが、現在でも生き残っているものは、やはり地域の愛着度や将来性への期待が大きいもののように思われます。白馬村にもそんなゆるキャラがしっかりと存在しています。



白馬村キャラクター  
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

白馬村のゆるキャラは、「ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世」と呼ばれています。設定によれば、この名前の意味はフランス語の直訳で「勝利の白馬」というもの。白馬村にスキーが伝来して 100 年経ったことを記念してベガサス座流星群からやってきたということのようです。チャームポイントは、「真っ赤な唇」と「背中の羽」。ちなみに、羽はお手製なので、空は飛べませんとのこと。白馬ジャンプ競技場の上ですらビビってしまうとのこと。そんな村男Ⅲ世には公式 HP (<https://www.vill.hakuba.lg.jp/section/murao/>) が公開されており、そこでは前述の分を含め 100 のプロフィールが紹介されるなど、より詳細な設定が紹介されています。



昨今ではゆるキャラの乱立に歯止めがかり、安易な発想のものは淘汰され、洗練された地域愛にあふれるものだけが生き残りを許される情勢となっています。白馬村の村男Ⅲ世もこの例にもれず、現在もほぼ月に一回のペースで地域主催の行事に登場するなど、郷土の期待を担ってしっかりとその存在感をアピールするものとなっています。本校セカンドスクールでも姿を見せてくれるかもしれません。今後も白馬村発展のために活躍を続けてくれることと思います。